



カジノ説明会に参加した・・・

1月17日南公会堂で「IR(統合型リゾート)」に関する市民説明会」があり参加した。
参加者の内、二百人余りから質問が出され、司会の無作為抽出で数人の質問が読み上げられた。私の質問は外れだった。
「カジノの周りには悪徳業者がいる。市民約7割が誘致に反対。」

カジノ設計者は

市長は誘致中止を宣言しませんか」との質問には会場から拍手。
米国で25箇所のカジノの設計や内装を手掛けて来た村尾氏は「4億円で受けた仕事で依頼主から6週間で元が取れたと云われた。それは負ける人が多くいるから。米国ではカジノ産業が衰退傾向。新たなマーケットとして日本に目を向け始めている。街や道がきれいな横浜にはカジノがなくても人は来る」(タウンニュース)という。

私の質問
横浜で美味しい物を食べ、お買い物をして「ああ、楽しかった。又、来ましょう」となるなら、観光客も横浜も喜びます。

ところが、カジノでは99%の人が外れ。結局「横浜でカジノに行つて損した・・・」家族は「横浜に来なければ良かった」となります。カジノに行った99%の人が、不幸になり横浜に悪い印象を抱いて帰ります。そういう不幸な人を沢山作らないとカジノは儲からない。そんな施設を作るより、来た人みんなが楽しめる方向を進むべきではありませんか？

お買い物なら払っただけお土産ができる。カジノでは殆どの客が何も持ち帰れない。賭け金の大半はカジノ業者を通じて米国に持って行かれる。
あなたはどう思われますか？

谷戸の向かいには

神奈川県横浜市南区永田東

二〇二〇年一月



横浜の関内桜木町方面は埋立地だから平ら。しかし、ちよつと内陸に入ると丘陵があり、それが浸食されて谷ができた

谷間だから寒い冬の季節風を避けることが出来る。お日様が照れば、暖かい。
そこで昔の人は谷間に水田を開き、住みついてきた。「谷戸」だ。

しかし、宅地開発では谷間より、日当たりの良い丘の上が好まれた。

向かいの南向き斜面には家々が密集。

一部の家は斜面を利用して、最上階に玄関、他の部屋は下の階で谷に面している。

過疎化に悩む地方では、空き家が目立つのに、都会では、家々が密集。

地方の仕事を増やし、生活しやすくすれば、これは変えられる。

先週は休みでしたが、来週も休みます

